



# 信越県境 地域づくり交流会

まなぶ・つながる・はじまる

日時：平成29年7月19日(水)

10:00~18:00

(エクスカージョンは20日(木)午前)

会場：道の駅クロステン(十日町市)

参加料：無料

定員：100名(先着順)

国内有数の豪雪地帯で、  
中山間地で、  
なおかつ地方都市の信越県境。  
少子高齢化、雪山離れ…  
課題はあれども、悩みの豪雪が  
無二のスノーリゾートを生み出すように  
課題は、磨けば光る魅力の原石でもあるのです。  
よく似たおとなりのまちでは、  
どうやって原石をみつけ、みがいたのでしょうか。  
そこで、おとなりのまちを、ちょっと拝見。  
ひとと知恵を紡いで、明日の信越県境を  
もっと楽しくしませんか。



主催 | (一社) 雪国観光圏 共催 | 信越自然郷 (信越9市町村広域観光連携会議)、上越市創造行政研究所

後援 | 新潟県、地域づくりネットワーク長野県協議会、愛知大学三遠南信地域連携研究センター

協力 | 新潟県十日町地域振興局、十日町市、(一社) 十日町市観光協会、(一財) 十日町地域地場産業振興センター

## 開催趣旨

長野県と新潟県の県境をはさむ国内有数の豪雪地帯は、中山間地域や地方都市ならではの共通課題を数多く抱えています。魅力的な地域資源や意欲的な地域づくりの取組みも数多く存在します。この地域が将来にわたり豊かであり続けるためには、歴史的にもつながりの深かった近隣市町村の人々がお互いに関心を持ち、境界を越えて交流・連携することが大切と考えています。

そこで、信越県境に近い各地域において地域づくりに取り組む方々からお集まりいただき、学びと交流を深める会を開催することになりました。第1回は新潟県上越市、第2回は長野県飯山市にて開催し、おかげさまでご好評をいただいたことから、第3回を新潟県十日町市で開催します。テーマには「老舗企業」と「鉄道」を取り上げ、この地域の過去・現在・未来を考えてみたいと思います。

この会をきっかけとして、このエリア一帯に存在する地域資源や取組みの素晴らしさを再発見できたり、今後の活動へのモチベーションにつながったり、あるいは情報交換や切磋琢磨できる関係が生まれ、未来の地域づくりのパートナーが生まれるきっかけになれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

10:00～10:30

開会あいさつ・趣旨説明

10:30～12:15

### トークセッションⅠ

#### 「老舗企業から学ぶ地域資源と地域経営」

この地域にある老舗企業は、変化に富む時代の流れや地方都市ならではの厳しい経営環境の中で、地域固有の資源や文化を守り伝え、育む重要な役割を担ってきました。そこで引き継がれてきた地域資源や経営理念は、分野を問わず地域づくりとも共通する点が多いものと思います。このセッションでは、様々な分野で老舗企業を営む方々からご登壇いただき、今日までの歩みをお聞きする中で、地域づくりのヒントを得る機会とします。



十日町市提供

12:15～13:30

休憩 ※昼食は館内及び周辺の飲食店をご利用ください。



### <スピーカー>

#### 青柳 安彦さん (新潟県十日町市)

株式会社青柳 代表取締役社長

1941年十日町市生まれ。実家の株式会社青柳に就職、1981年社長に就任。同社は創業以来、オリジナリティのある作品を手がけてきたが、より複雑で高度な複合加工のきもの創作に力を注ぐため、素材開発から染の技術まで自社工房内での手業の一貫生産体制を構築。2003年には、和のトータルセレクトショップ「WAPON」を展開、伝統ある「染め」や「織」の技術を活かした小物やインテリア商品を開発。商工会議所きもの部会長として「産地特別招待会」を手掛けて5年。十日町織物工業協同組合理事（元理事長）、昨年からは十日町市観光協会会長を務める。阪神タイガースの大ファン。



#### 高橋 五輪夫さん (新潟県湯沢町)

雪国の宿高半 専務、湯沢町議会議員

1972年湯沢町生まれ。高校在学中にアメリカに短期ホームステイ、卒業後にカナダへ。現地にてオンタリオ州の旅行会社に就職し、現地日本語ガイドライセンス取得後、手配オペレーターなどを行う。祖父の他界がきっかけで実家である雪国の宿高半に就職。結婚後、夫婦で西伊豆の温泉旅館で約3年弱修行し湯沢に戻る。2011、12年新潟県旅館ホテル組合旅館組合青年部長、2013年湯沢温泉旅館組合長、湯沢町議会議員選挙を経て現在に至る。旅館を営むかたわら、地域づくりなどにも意欲的に取り組んでいる。趣味は旅行。



#### 棚橋 博史さん (新潟県上越市)

株式会社岩の原葡萄園 代表取締役社長

1958年生まれ。大学院修了まで京都で育つ。専攻は農芸化学。1983年にサントリー（株）に入社以来、ワインの技術開発を専門に従事。1990年にはボルドー大学ワイン醸造学研究所に派遣され、ワイン利酒の資格を取得。2014年11月から現職。自然に接するのが好きで、通勤中に妙高連山を眺めるだけで幸せな気分になる。



#### 鷲森 秀樹さん (長野県飯山市)

有限会社神仏の鷲森 専務取締役

1982年飯山市生まれ。20代前半までアパレル会社にてバイヤーを務め流通を学ぶ。父親の他界に伴い2005年に家業に入り、伝統技法や神事仏事作法を学び2010年より現職。伝統産業を身近に感じて欲しいと、伝統工芸と現代ニースの融合を掲げ、様々な商品開発やアプローチを展開。また若者の移住定住施策を調査研究する飯山市若者会議の会長を務め、地元若者を集めたトークイベント「若ショック!!」を開催するなど、地域の賑わい創出の中心人物として奔走。地元ジュニアスキージャンプチームのコーチとしても活躍。



### <モデレータ>

#### 井口 智裕さん (新潟県湯沢町)

越後湯澤HATAGO井仙代表取締役、  
(一社)雪国観光圏代表理事

1973年湯沢町生まれ。東ワシントン大学経営学部マーケティング科卒業後、1996年に家業である湯沢ビューホテルいせん入社、2005年に4代目社長に就任し、「越後湯澤HATAGO井仙」としてリニューアル。自社の経営改革に取り組むとともに、2008年に周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」、2011年に雪国食文化研究所を立ち上げ、代表に就任。2013年に一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。着地型旅行商品や雪国A級グルメのほか、観光品質認証制度などを企画開発。著書に「ユキマロゲ経営理論」。



13:30 ~ 16:00

## トークセッションⅡ

### 「地域を元気にする鉄道の活かし方」

この地域には、上越・北陸の両新幹線に加え様々な経営主体によるローカル鉄道が存在します。マイカーの利用が浸透し、かつ広範な過疎地域を擁する中で、どの路線も経営状況は厳しいものの、見方を変えれば豊かな自然・生活環境の中でこれだけ鉄道に恵まれた地域は稀有といえます。

このセッションでは、鉄道会社や地域住民の立場から鉄道を活かした取組みを企画・実践する方々にご登壇いただき、その内容をお聞きしながら、地域と鉄道が共に歩み、高め合える関係をつくるため、皆さんと共に考える機会とします。



北越急行株式会社提供

16:00 ~ 16:30

閉会

16:30 ~ 18:00

### 交流会 (参加費 2,000 円)

※地元の郷土料理を召し上がりながら、参加された方々と交流しましょう。

## <スピーカー>

### 竹本 勝紀さん (千葉県銚子市)

銚子電気鉄道株式会社 代表取締役社長 【特別ゲスト】

1962年生まれ。大学で経済学を、大学院で都市計画を学ぶ。  
千葉市内の会計事務所で税理士として勤務の後、2009年に独立し竹本税務会計事務所を開業。  
2005年より銚子電鉄の担当税理士として財務・税務及びネット販売業務に従事。  
2007年6月銚子電鉄取締役(財務担当)に就任。  
2012年12月銚子電鉄代表取締役社長に就任、会社再生の任を担い、斬新なイベント企画を通じて企業ブランド価値の構築に勤む。  
昨年、電車の動力車操縦者免許を取得し、運転士デビューを目指し習熟運転に励んでいる。



### 渡邊 正幸さん (新潟県十日町市)

北越急行株式会社 代表取締役社長

1952年生まれ。1970年日本国有鉄道に入社し、東日本旅客鉄道株式会社新潟支社の運輸部長、JR新潟鉄道サービス株式会社の常務取締役を経て、2014年6月現職に就任。  
2015年3月の「特急はくたか」さよならイベント、超快速「スノーラビット」の運行開始セレモニーをはじめ、お客様感謝イベントやはくたかフェスなど、多彩なイベントを開催。また、「沿線地域のお客さま、社員、みんなが笑顔になる鉄道」をコンセプトに卒アル列車、パン列車や超低速「スノータートル」の運行等、ほくほく線的话题を積極的に発信し、鉄道の魅力を県内外にアピールしている。



### 田村 香さん (新潟県南魚沼市)

ナナシのマルシェ

茨城県生まれ。都内に就職後、29歳の頃、湯沢のスキー場で住み込みアルバイトをし、そこで雪国の春に感動して移住を決意。間もなく結婚、出産。しばらく会社勤めをしていたが、環境や安全を考えた持続可能な暮らしがしたいと思い、手焙煎コーヒーの移動販売を始める。2013年から仲間とともに露天市「ナナシのマルシェ」を月1回開催。同年12月からナナシのマルシェの特別企画として、北越急行の共催による「ほくほく列車の市」を年2回企画。2015年冬からは「パン列車」に内容を変更。今年5月でパン列車は4回目。



### 鈴木 克己さん (長野県飯山市)

飯山市役所

1970年飯山市生まれ。2013年商工観光課に配属され、グリーン・ツーリズム、インバウンド、食産業の推進等を担当。飯山線で車窓からの景色を見ながら、郷土食や地域の農産物を使った料理を味わってもらうことで、都会にはない田舎の豊かさやここで暮らす人々の温かさを感じてもらえればとの考えから企画された「走る農家レストラン」の企画運営も担当し、2013年6月に実現した。それをきっかけとして、現在は「おいこっと」という車両が定期的に運行しており、走る農家レストランは年間8回ほど開催している。



### 新路 祐也さん (長野県白馬村)

一般社団法人白馬村観光局

1979年神奈川県生まれ。20代後半、将来住んでいたい場所を夫婦で探し、四季折々の自然の中で遊べる白馬村に辿りつく。  
2014年から参加した長野県主催の「地域づくり観光マネジメント塾」をキッカケに、サイクルツーリズムの可能性に気づく。自身は本格的に自転車に乗るわけではないが、地域のサイクリストや活動に賛同してくれる人たちの協力を得ながら、白馬エリアが一年を通して世界に誇れるリゾート地に近づくために、自転車を軸とした観光振興にも取り組んでいる。



## <モデレータ>

### 樋口 秀さん (新潟県長岡市)

長岡技術科学大学大学院准教授・雪国観光圏二次交通検討WG座長



1966(丙午)年島根県生まれ。地元の国宝松江城は小学校の遠足先。米子高専で建築を学んだ後に、長岡技大で土木工学と都市計画を専攻。島根県出雲市の工業高校建築科教諭を経た後、長岡技大の教員に。長岡での生活は通算25年目に突入し人生の半分。趣味はサッカー。中心市街地活性化を念頭に置いた「まちなか居住」をテーマに研究を進める一方で、その話題での懇親会参加がメインに。地方都市を元気にすることが人生の目標。NPO まちなか考房・副代表理事(調査研究・広報担当)



7月20日(木)  
9:00 ~ 11:30

エクスカーション (集合: 道の駅クロスステン正面入口)  
十日町市内の博物館、織物工場を見学します。(参加費 1,000 円)

# 第3回 信越県境地域づくり交流会 参加申込書

枠内にご記入の上、FAXにてご送付ください。  
定員に達し次第、申込みを締め切らせていただきます。

**締切 7/14 (金)**  
※宿泊希望の方は7/6(木)まで  
**定員 100名 (先着順)**

※下記説明をご確認の上、該当するものに○を付けてください。

トークセッション		③交流会 (2,000円)	④宿泊 (19日)	⑤エクスカーション (20日)
①I老舗	②II鉄道			

お名前	市町村名	ご所属	連絡先	①I老舗	②II鉄道	③交流会 (2,000円)	④宿泊 (19日)	⑤エクスカーション (20日)
ふりがな			Tel : - - Fax : - - E-mail :					
ふりがな			Tel : - - Fax : - - E-mail :					
ふりがな			Tel : - - Fax : - - E-mail :					

<説明>

※資料持込みについて…ご自身やご所属の活動を紹介します資料などありましたらご持参ください。

- ①【I老舗】19日(水) 10:00～
- ②【II鉄道】19日(水) 13:30～
- ③【交流会】参加費2,000円(飲食代)を当日受付にてお支払ください。
- ④【宿泊】
  - 1泊朝食付きシングル6,500円税込(クロスステンから徒歩圏内)の宿泊施設をご用意します。施設の詳細については、申し込み後に一般社団法人十日町市観光協会よりご連絡いたします。
  - ※ご宿泊代金は、宿泊当日に、ご利用のお客様より宿泊施設へ直接お支払いいただきます。
  - ※お客様のご都合により予約を取り消しされる場合、取消料がかかることがありますのでご注意ください。
  - ※参加締切り後の宿泊に関するお問い合わせ先  
一般社団法人十日町市観光協会 Tel:025-757-3345 / Fax:025-757-5150 / E-mail:tokamachi@tokamachishikankou.jp
- ⑤【エクスカーション】20日(木) 9:00～

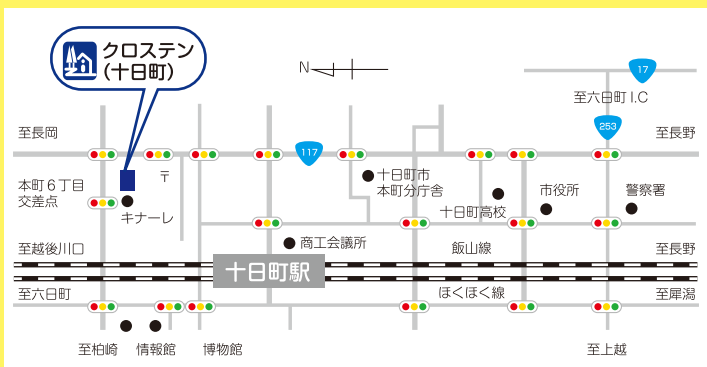
<申込書について>

- ※個人情報、ご本人への連絡や次回交流会へのご案内のみに使用し、第三者に開示することはいたしません。
- ※ご同伴者の記入欄が足りない場合は、お手数ですがこの用紙をコピーしてご使用ください。
- ※定員に達した場合や開催中止の場合はご連絡いたします。

会場アクセス

## 道の駅クロスステン

☎025-757-2323 新潟県十日町市本町六の一丁目71番地26



・JR・北越急行 十日町駅から徒歩約10分  
・自家用車で越しの方は、道の駅クロスステン専用駐車場(362台)をご利用ください。

鉄道・バス時刻表

(ゆき)

越後湯沢 9:14	→	六日町 9:30	→	ほくほく線 9:40
糸魚川 6:53	→	直江津(乗換) 8:15	→	ほくほく線 9:07
妙高高原 7:11	→	戸野沢温泉(乗換) 7:05	→	飯山線 8:27
飯山 6:39	→	越後川口(乗換) 9:02	→	飯山線 9:29
長岡 8:36	→			

十日町 徒歩10分 会場

(かえり) ※十日町駅の発時刻のみ掲載。詳細は時刻表をご確認ください。  
 越後湯沢方面 17:43、18:45、19:28、20:28、21:33(最終)  
 直江津方面 17:44、18:44、19:28、20:28、21:34、23:03(最終)  
 飯山方面 17:35、18:58(長野行最終)、21:41(森宮野原行最終)  
 長岡方面 17:32、19:07、20:50(最終)

お申込み・問合せ先

## 一般社団法人雪国観光圏

☎025-785-5353 (9:00～18:00) Fax 025-785-6767  
 http://snow-country.jp/  
 info@snow-country.jp  
 〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢 2431-1